



甘文之云

格も手子母乃川へきつる葉もあふ
 美化

汝の身をまろく小粒や常もあふ

場を撰るも海の手つと田植る
 山立

氷積の子蓮花酒葉のまろく
 成る

石山ゆきまろく七石もゆきかんこ
 斗酸

涼さや山う川滝の袖もちる
 甚化

閑人の合歌子まろくゆふへう水

つものへいゆき

彫工小林木茂

